英語 7　文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える

7　次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (　　), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(注) creative: 創造的な
not only 〜, but also・・・: 〜だけでなく、・・・も
puppet: 人形　　workshop: ワークショップ
connect: 〜をつなぐ　　while: 〜する間

(1) 英文中の(　)に当てはまる語(句)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

1　Like this

2　For example

3　Then

4　Second

(2) しおりさんが書いた英文の概要(文章全体の大まかな内容)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

1　The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.

2　There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.

3　The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.

4　The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

出題の趣旨

日常的な話題について、文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる。

「概要を捉える」とは、物語や説明文などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えることである。概要を捉える際には、各段落内の構成を捉えることが重要であり、文と文との関係を正確に読み取ることは、その構成を捉えるために必要な技能の一つである。

本問では、図書館について書かれた短い文章を読むことを通して、概要を捉えることができるかどうかと、概要を捉えるために必要となる文と文との関係を正確に読み取る技能が身に付いているかどうかを把握することをねらいとしている。

設問(1)は、図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する問題である。文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかを把握するために出題した。

設問(2)は、図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する問題である。日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかを把握するために出題した。

設問（１）

趣旨

文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

内容（1）英語の特徴やきまりに関する事項

イ　符号

ウ　語、連語及び慣用表現

エ　文、文構造及び文法事項

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
7	(1)	1	１　と解答しているもの	14.9	
		2	２　と解答しているもの	60.4	◎
		3	３　と解答しているもの	16.6	
		4	４　と解答しているもの	7.8	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.3	

２．分析結果と課題

○　正答率は、60.4％である。文と文との関係を正確に読み取ることはおおむねできている。

○　解答類型１、３、４に該当する生徒は、空所の後に位置する people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria.という英文が、空所の前に位置する There are many kinds of spaces, too.という英文の具体的な情報を示しているという文と文との関係を読み取ることができていないと考えられる。

設問（２）

趣旨

日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

イ　日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
7	(2)	1	1　と解答しているもの	35.2	◎
		2	2　と解答しているもの	25.2	
		3	3　と解答しているもの	24.2	
		4	4　と解答しているもの	14.6	
		99	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	0.7	

２．分析結果と課題

○　正答率は 35.2%である。日常的な話題について、各段落の主な内容を読み取り、それらを過不足なく関係付けて、短い文章の概要を捉えることに課題がある。

○　解答類型２、３、４に該当する生徒は、情報の不足や偏り、内容の具体性のバランスなどを踏まえ、英文全体の主題と各段落の主な内容が過不足なく含まれているかを判断することに課題があると考えられる。

○　大問７（１）と（２）とのクロス集計の結果から次のことが考えられる。

・　大問７（１）で「正答」の生徒のうち、（２）で「正答」の生徒の割合は 42.1%である。大問７（１）で「誤答または無解答」の生徒のうち、（２）で「正答」の生徒の割合は 24.6%である。このことから、文と文との関係を正確に読み取ることができている生徒のほうが、文章の概要を捉えることができていると考えられる。

大問７（１）と（２）とのクロス集計の結果

（%）

7（1）	7（2）		
	全体	正答	誤答または無解答
正答	100.0	42.1	57.9
誤答または無解答	100.0	24.6	75.4

３．学習指導に当たって［対応設問：（１）（２）］

説明文を読んで、概要を捉えることができるようにする

説明文を読んで、概要を捉えるためには、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることが重要である。

指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

・　短い説明やエッセイ、物語などの文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容などを把握したりする活動
・　学校生活を紹介している短い文章を読む際に、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする活動
・　友人や教師が休日を過ごした中で感じたことなどのエッセイを読む際に、出来事を時系列に沿って整理し、伝えようとしている内容を絵や簡単な英語で表現する活動

言語活動を行うに当たっては、語と語の関連や代名詞、接続表現などを手掛かりにしながら、

段落内の情報の関係を正確に把握することが大切である。また、各段落の主な内容を関係付けていくことにより、文章全体の大まかな内容を捉えることも求められる。本問においては、概要としてまとめた英文について、各段落の主な内容が過不足なく含まれているか、情報に偏りがないか、一部の情報だけが詳細に述べられているなどバランスを欠いていないかといった視点で確認することが大切である。

なお、英文を読んで概要を捉える際には、説明文や物語など読んでいる題材に応じた指導を心掛けることが大切である。例えば、説明文の場合には、各段落の主な内容を集めたものを概要として捉えることが考えられるが、物語の場合には、時間の流れに沿ったあらすじを概要として捉えることが考えられる。このように、読んでいる英文の題材に応じて様々な概要の捉え方を指導することが求められる。

授業アイディア例

「短い文章の概要を捉える力を育成するための学習過程」

1．文章を読む目的を把握する → 2．文章を読み、各段落の主な内容を捉える → 3．段落間の関係を把握する → 4．概要としてまとめた英文に情報の不足や偏りがないか検討する

1．文章を読む目的を把握する

Shiori wrote an article about “the library in her town.”
Let’s read the article to understand the outline.

教師

ポイント 「Shiori が町の図書館について書いた記事の概要を捉える」という読む目的を明確にすることが大切です。

2．文章を読み、各段落の主な内容を捉える

Read the article. When you read the article, find the main point of each paragraph.
You can mark the main point on your tablet.

（1）各自のペースで自由に書き込みをしながら文章を読み、各段落の主な内容をつかむ。

ポイント 段落ごとに主な内容を表す英文と、その具体的な情報を表す英文を区別しながら読むように指導することが大切です。その際、教科書に書き込んだり、1人1台端末の書き込み機能を活用したりすると効果的です。

（2）各自で捉えた各段落の主な内容を表す英文をグループ内で共有し検討する。その際、その英文を選んだ理由（選ぶための手掛かり）も述べる。

Let’s check the main point of the 2nd paragraph.

I think “There are many kinds of spaces.” is the main point of the 2nd paragraph. The other three sentences are examples.

I think so, too. 私も“For example” とあったので、その後は例が書かれていると思いました。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. For example, people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

Good. What are the examples of “many kinds of spaces”? List the examples.

“Sofas,” “*tatami* mats,” “the library cafeteria,” and “small rooms for studying, meeting, or working”が “many kinds of spaces”の例だと思います。

ポイント
- 生徒同士で検討することで個人の読みでは気付かない視点を得られることがあります。
- 生徒の発話の状況によっては、検討のための手掛かりとして、段落内における文の役割、接続表現、語と語の関連に着目して読むように指導することが大切です。

Paragraph 各段落の主な内容 ＋ 具体的な情報
There are many kinds of spaces. For example, 具体例
sofas, *tatami* mats, the library cafeteria, small rooms for studying, meeting, or working

3. 段落間の関係を把握する

1st paragraph ： We can do a lot of things there.
2nd paragraph： There are many kinds of spaces, too.
3rd paragraph ： Our creative library can connect people.

Have you found the main point of each paragraph?

I have a question. I think “The library in our town is more creative, too.” is the main point of the 1st paragraph.

I see. And what do you think?

ALT

I think “The library in our town is more creative, too.” is the main point of whole article.

“We can do a lot of things there.”や“There are many kinds of spaces.”、“Our creative library can connect people.”といった文がクリエイティブなところを表していると思います。

That’s right. So, the 2nd sentence in the 1st paragraph “The library in our town is more creative, too.” introduces the main point of each paragraph.

ポイント 段落と段落の関係をワークシートなどに図示させて段落間の関係を捉えることも効果的です。

4. 概要としてまとめた英文に情報の不足や偏りがないか検討する

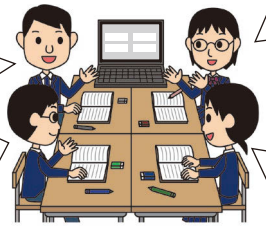
Shiori wrote four different outlines of the article. Which one is the best? Read and compare the outlines. With your partners, choose the best one and explain why you think so.

A(大問7(2)選択肢1) The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.	B(大問7(2)選択肢2) There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
C(大問7(2)選択肢3) The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.	D(大問7(2)選択肢4) The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

(1) 概要として最もふさわしい英文をグループ内で比較検討する。その際、その英文を選んだ理由を述べたり、他の英文の改善点を述べたりする。

“C” には第 1 段落の主な内容が必要だと思う。それは、“We can do a lot of things there. ”だったね。

“D” には第３段落のことしか書かれていないね。あと、“C”と“D” には、第３段落の例が書かれていたけど、概要には具体例は必要ないと思うよ。



“B” needs the main point of the 1st paragraph, too. When I read “B” and “D,” I couldn’t understand the main point of whole article. “B” and “D” need the main point of whole article.

I think “A” is the best outline. “A” shows the main point of whole article first, and then has the main point of each paragraph.

説明文の概要を捉えることができましたね。どのようにしたら概要を捉えることができましたか。

各段落の主な内容を読み取って、段落間の関係を考えることで概要を捉えることができました。

(2) 学んだことを他の場面や状況で活用する。

ポイント 言語活動を通して「概要を捉えるための読み方」を理解し、別の文章の概要を捉える際にも、その読み方を活用できるようにすることが大切です。

【活用のポイント】

○ 説明文を読んで捉えた概要を相手に分かりやすく伝えるなどの言語活動につなげることができます。

○ 文章構成を考えながら説明文の概要を捉えたことを生かして、文章構成の特徴を意識しながら説明文を書くなどの言語活動につなげることができます。

コラム③

【読むこと「概要」を適切に捉えるために】

「読むこと」の領域において概要を捉えることについて、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説には、「例えば物語などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれたりすることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えること」(p. 21)と述べられています。説明文であれば、ある話題について書き手が述べている具体や主張、理由、根拠などの大まかな内容を文章全体の構成に沿って読み取ることと言えます。まとまりのある文章を読んで概要を捉えるための手掛かりとなるのは、段落の区切りです。段落ごとに、その話題と主な内容を把握し、それらを段落間の関係に沿ってつなぐことにより、文章全体の大まかな内容を捉えることができます。

大問７（２）は、図書館という生徒に身近な施設を日常的な話題として設定し、その変化について述べた複数段落からなる説明文を読んで概要を捉える問いです。解答を導くには、段落ごとに情報間の関係を考えながら主な内容を把握し、それらをたどりながら文章全体の概要を捉える力が求められます。大問７（１）は、２つ目の段落の主な内容を把握する過程で、情報間の関係を正確に読み取ることができたかを確認するために設けたものです。

文章を読んで概要を把握できることは、その要点を捉えるためにも必要です。「概要」が段落ごとに大まかに（＝「概」）捉えた主な内容（＝「要」）であるならば、「要点」は、文章全体を通して書き手が最も伝えたい内容のことです。まず文章を最初から最後まで読み通し、段落ごとの主な内容を関係付けて概要を捉え、そこから最も重要な情報を判断して要点にたどりつくために、概要を適切に捉えられることが大切です。

概要の把握を促す指導として、まとまりのある文章を読みながら、段落内の情報と情報、さらに段落と段落の関係を図示する活動を取り入れることができます。その際、個々の詳細な情報にとらわれることなく大切な情報を判断するために、接続詞などに注目して情報間の関係を把握しながら読み進めるように促します。初めはペアやグループ活動として、生徒同士で理解したことを共有しながら取り組ませると効果的です。既成の図を埋めるだけではなく、最終的には生徒自身が読んだ文章の構成や情報の関係を図に表すことができるようになることを目指します。

まとまりのある文章の概要を捉える活動は、捉えた概要を英語で相手に分かりやすく伝えるために、その構成や表現を工夫しながら話したり書いてまとめたりするなどの言語活動につなげていく指導を行うこともできます。例えば、概要を話して伝える言語活動では、それが映画や物語についてであれば、コミュニケーションを行う相手に結末の期待をもたせる内容にするか、全体の内容が簡潔に網羅されたものにするかなど、目的や場面、状況等に応じてより深い思考を伴う活動にすることができます。概要の把握という受容面での英語使用にとどまらない指導が大切です。